

eVTOL・ドローン・電動航空機の開発へ エアモビリティ評価用ソリューション

近年新たな移動手段として、様々な電動エアモビリティの開発が進められています。東陽テクニカでは電源周りの動力評価はもちろん、機体の機械的信頼性評価、EMC 評価、無線通信評価など様々な角度から安全なエアモビリティ開発を支援するための評価ソリューションを提案しております。

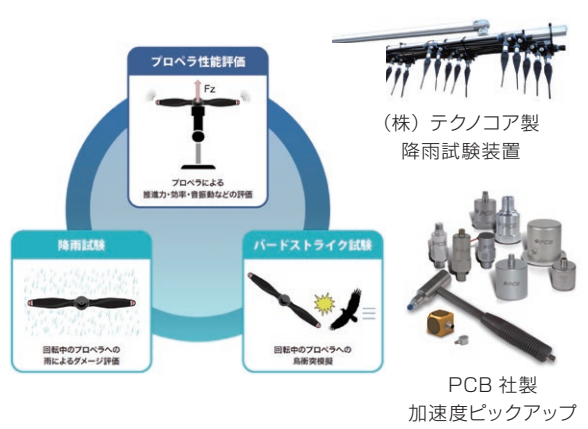


GPS/GNSS・無線通信評価システム



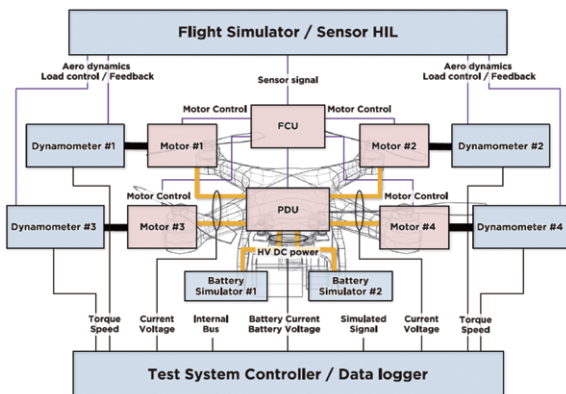
実験室内で世界各地のGNSS 信号を再現できる GNSS シミュレータや、無線通信信号に意図的なノイズを載せる無線伝搬路エミュレータを取り扱っております。他シミュレータとの連動もでき、安全な自律運転制御開発に役立ちます。

プロペラ評価ベンチ



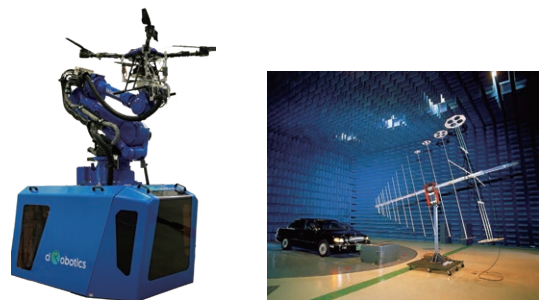
よりよい飛行性能を出すためには、プロペラの性能評価も重要です。プロペラの推進力などの基本性能評価に加え、耐久性能評価や破壊試験も必要となります。当社はプロペラベンチの製作はもちろん、各種評価に必要な装置も合わせた評価システムをご提供いたします。

eVTOL 向け IronBird システム



eVTOL（電動垂直離着陸機）では、運転状況に応じて複数のモータに対する協調制御を行う必要があります。通常運転時の制御はもちろん、フェール時の挙動検証や、高圧 DC バスラインに対する安全性の評価を実飛行試験の前に実施するのが必須となります。eVTOL 向け IronBird システムではダイナモメータやバッテリーシミュレータを使って飛行状態を模擬することで、上記の評価を実験室内で実施することができます。

ドローン評価システム



ciRobotics (株) 製
ドローンアナライザ

EMC 評価システム

ドローンの需要は高まっているものの、安全な飛行を担保するための評価手法はまだ定まりきっておりません。当社では評価装置のご提案だけでなく、お客様のニーズに合わせた評価手法の開発にも取り組んでおります。「そもそも何をすべきか？」や「何かしないといけないがやり方を相談したい」などの漠然としたご相談でも構いませんので、是非お問い合わせください。